

平成 25 年度決算の概要について

〔平成 26 年 6 月 19 日〕  
一般社団法人 第二地方銀行協会

会員行の平成 25 年度決算（単体）の概要は以下のとおり。

(注) 計数は平成 26 年 3 月末時点の会員行 41 行ベース（特記ある場合を除く）。

**1. 損益概況（業務純益：3,803 億円、経常利益：3,481 億円、当期純利益：2,526 億円）**

平成 25 年度決算の業務純益は、資金利益および役務取引等利益の増加等により、3,803 億円と前年度比+408 億円、+12.0%の増益となった。

経常利益は、株式等関係損益の大幅な改善、個別貸倒引当金繰入額の減少により、3,481 億円と同+1,514 億円、+77.0%の増益となった。

当期純利益は、経常利益の増益を受け、2,526 億円と同+1,293 億円、+104.9%の増益となった。

**2. 業務純益の状況**

**(1) 資金利益（9,340 億円、前年度比+398 億円、+4.5%）**

資金利益は、前年度比+398 億円、+4.5%増益の 9,340 億円となった。

この内訳をみると、預貸金収支は、貸出金残高（平残）は増加したものの、預貸金粗利鞘の縮小により、同△275億円、△3.7%減少して7,130億円となった。

有価証券利息配当金は、同+628 億円、+38.8%増加して、2,245 億円となった。

**(2) 役務取引等利益（789 億円、前年度比+63 億円、+8.7%）**

役務取引等利益は、投信窓販業務手数料の増加を主因に、前年度比+63 億円、+8.7%増益の 789 億円となった。

**(3) その他業務利益（614 億円、前年度比△57 億円、△8.5%）**

その他業務利益は、前年度比△57 億円、△8.5%減益の 614 億円となった。

**(4) 経費（7,040 億円、前年度比+5 億円、+0.1%）**

経費は、7,040 億円と前年度比+5 億円、+0.1%の増加となった。

**3. 不良債権処理（与信関係費用）の状況**

不良債権処理額（与信関係費用）は、561 億円と前年度比△487 億円、△46.5%の減少となった。

また、金融再生法開示債権（破産更生等債権、危険債権、要管理債権）は、いずれも減少し、前年度末比△1,946億円、△11.3%減少して1兆5,262億円となった。開示債権比率は同△0.50%ポイント低下して3.26%となった。

#### 4. 経常利益および当期純利益の状況

経常利益は、株式等関係損益の大幅な改善、個別貸倒引当金繰入額の減少により、3,481億円と前年度比+1,514億円、+77.0%の増益となった。

当期純利益は、経常利益の増益を受け、2,526億円と同+1,293億円、+104.9%の増益となった。

#### 5. 単体自己資本比率[国内基準40行]（自己資本比率：10.18%）

平成25年度決算からバーゼルⅢ基準で算出している単体自己資本比率は、10.18%となった。

#### 6. 預金および貸出金（末残）

##### (1) 預金（61兆5,006億円）

預金（末残）は、前年度末比+1兆4,756億円、+2.5%増加して61兆5,006億円となった。預金者別にみると、要求払預金を中心に一般法人預金および個人預金はともに増加した。

##### (2) 貸出金（46兆1,999億円）

貸出金（末残）は、前年度末比+1兆412億円、+2.3%増加して、46兆1,999億円となった。

以 上